

課題対応取組報告書

【共通】

名称	難波ランチ						
提出日	令和	7	年	7	月	9	日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設（居場所づくり等）
	<input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援	<input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
活動テーマ	多様な機関とのネットワークの構築	
地域ケア会議から 見えてきた課題	・近隣住民などとも交流がなく孤立している高齢者がおり、総合相談窓口へも繋がらず、支援に繋がらない。	
対象	高齢者と関わる関係機関（コンビニエンスストア・住宅管理会社・医療機関・金融機関）	
地域特性	・昔から住んでいる高齢者は、近隣住民は把握できているが、外出機会が少なかったり地域活動不参加であれば孤立していることも多い。 ・転入も多く、オートロックの集合住宅などでは近隣住民との交流がないことも多い。	
活動目標	多様な機関に総合相談窓口の活動の周知・利用促進を行い、困っている高齢者などに対して早期に対応を行う	
活動内容 (具体的取組)	○コンビニエンスストア セブンイレブンとのネットワークの構築 ・4、5月に区、包括、オレンジチームとともに協力を得られた店舗へ相談窓口の周知を行った。 ○住宅管理会社とのネットワークの構築 ・相談があった際に、管理人へ総合相談窓口の周知を都度行った。 ・住宅管理会社から相談あれば、同行訪問し本人の意向を確認しながら支援へ繋がられるように対応した。 ・3月、オートロックのある集合住宅管理人より区社協へ高齢者が増えていること等相談あり、地域活動の周知など取り組みを紹介し今後集合住宅内で行えることなど区社協、包括とともに話し合いを行った。 ○医療機関とのネットワークの構築 ・6月の健康展へ包括とともにブース参加、3月の認知症講演会へは実行委員会として関わった。 ・病院受診時や、退院時など、医療機関の医師や医療相談員と連携し無理なく在宅生活を行えるよう支援を行った。 ○金融機関とのネットワークの構築 ・通帳やカード紛失等で金融機関へ何度も訪れる認知症の高齢者に対し、銀行員と連携し安心していただける声掛けなど行い、その後の対応等情報共有を行った。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	・令和5年度より6年度の相談実人員は微増している。 ・ネットワークの構築を行い支援を行ったことで、その後も支援が必要な高齢者がいた際、総合相談窓口への相談が入り介護保険サービス利用やその他サービス、見守り支援等を行えている。	
今後の課題	・継続的にネットワークの構築を行うことで、今後も孤立防止を行い早期対応が行えるようにする。 ・今後もさまざまな関係機関とネットワークの構築を行い総合相談窓口の周知、利用促進に努め高齢者本人にとって安心した生活を送っていただけるよう支援を行っていく。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和7年7月24日（木）	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	・高齢者の地域での孤立化を防ぐための取り組みが評価できる。高齢者が地域住民と接点を持ちにくい現状や、金融機関やコンビニエンスストアでの困難な状況に対してどう対応するかが、どう声をかけるかの啓発が草の根活動的に展開されて非常に評価できる。 ・集合住宅のオートロックにより地域住民の把握が難しいことから、管理人や管理会社との連携が重要であり、普段から目を配っている活動が非常に素晴らしい。これらの取り組みを継続することが重要。	